

# アグリ経営情報システム

明るい未来へ向けて

# 農業ビジネスを取り巻く経営環境に関する理解

食料自給率が、1965年に73%あったが2007年には40%に減少。国民の不安感が高まっており、政府として2027年に45%とする目標を定め取り組みつつある。しかし、農業就業者の減少と高齢化が急速に進んでいる中、従来の発想にとらわれないビジネスモデルにより新規の市場や顧客を自ら獲得して、安定した販売数量と利益を確保するなど補助金に頼らない自立した経営者を育てる必要がある

## 農業標準化に派生したイノベーション

### 【食料自給率の現状】

輸入に依存しており、国際競争力がない  
食料自給率はカロリーベースなので野菜等を拡大しても食料自給率UPにならない  
輸出できるような国際競争力のある生産品を育てる必要がある

農業ビジネス改善による市場の拡大と消費者からの信頼性確保  
魅力あるグローバル食料の展開促進  
後継者促進と新規ビジネスモデル、付加価値力の増大  
農業ノウハウを集大成した基幹テンプレートの構築による知識・経験の共有

### 【農業経営の現状】

後継者育成のために教育カリキュラムの作成、農地の流動化を計り作付面積の拡大を促進させる補助金に頼らない新たなビジネスモデルや付加価値を高める必要がある  
農業経営を安定させるため、業務ノウハウを標準化して、経験・知識を反映した農業基幹テンプレートの作成が必要

# 農業ビジネスにおけるプロジェクトの位置づけ

## 第一段階

農業ノウハウの標準化  
と農業基幹  
テンプレート構築

- 多数の手続きを標準化・簡素化しルーチン作業の効率化を図る
- 手書き伝票を撤廃し電子化を実現
- 在庫・残材管理の機能を強化
- 生産ノウハウや資材調達のアレッジを蓄積・共有

## 第二段階

パートナーを  
巻き込んだ  
SCM構築

- IT基盤を構築し、外部システムとの接続を容易にする
- パートナー向けWebシステムの機能強化による情報伝達の迅速化を進める
- 資材調達の集中購買を実現する

## 第三段階

SCMと  
バリューチェーン  
の融合

- 生産物の付加価値を高めるようなビジネスモデルを実現
- 単なる生産者から経営者へシフトして農業ビジネスへのアドバイザーを目指す

標準化

農業ビジネス  
改善目標

対応の方向性

農業ノウハウの標準化を促し、  
パートナーとの連携と、  
ガバナンスの利く“仕組み”を導入

農業ビジネスへのアドバイザー  
経営者へのシフト

付加価値創造

「農業ビジネス構築」プロジェクトは、  
標準化された農業ビジネスの再設計と付加価値の創出へのチャレンジと理解しています。

# 参考：農業ノウハウ標準化とは

標準化分野には、以下の5つがあり、3カテゴリーで整理されます。

すなわち、①業務プロセスと業務ルールからなる「業務標準」、②KPIとコード体系をまとめた「データ標準」、③それらを仕組みとして支え、将来的に維持するための「システム標準」です。

## 標準化の分野

1	業務プロセス	<ul style="list-style-type: none"><li>要件定義書</li><li>業務フロー</li><li>業務マニュアル、オペレーションマニュアル</li></ul>	<b>業務標準</b> 標準化される業務プロセスや業務ルールを定義 → 主として、業務の効率化や内部統制に寄与
2	業務ルール	<ul style="list-style-type: none"><li>「資材のカテゴリ」など用語の定義統一</li><li>検収基準や在庫廃棄など判断基準の統一</li><li>在庫責任などルールや、実施のタイミングの統一(同期化)</li></ul>	
3	KPI(Key Performance indicator)	<ul style="list-style-type: none"><li>「調達リードタイム」、「納品遵守率」、「商品欠品率」などの指標策</li><li>指標定義の統一</li></ul>	<b>データ標準</b> 作業や業績評価で使用されるKPIとコード体系を定義 → 主として可視化や効率化に寄与
4	コード体系	<ul style="list-style-type: none"><li>品目コード、仕入先コードなどマスタデータの統一</li><li>データ分析に必要となる品目の階層化の統一など</li></ul>	
5	システム	<ul style="list-style-type: none"><li>利用するパッケージ、およびリリースバージョン</li><li>システム環境(サーバー、クライアント)</li><li>メニューや追加プログラム</li></ul>	<b>システム標準</b> 上記を実現するためのファンダメンタル

# 事業内容

企業化を目指す農業者および農業法人を農業経営の立場から、コンサルティング活動を通して支援する。

- ・ **コンサルティング支援内容**

- ・ 調査、分析支援
- ・ システム構築支援
- ・ 人員計画支援
- ・ 設備管理、設備計画支援
- ・ 農地利用計画支援
- ・ 販売管理、販売計画支援
- ・ 顧客管理支援
- ・ 商品管理支援
- ・ 原価管理支援
- ・ 事業計画支援
- ・ 各種申請支援



# パートナー(利害関係者:ステークホルダー)

- .生産者
- .産地の流通業者
- .資材業者
- .販売業者
- .小売業者
- .加工業者



生産品の調達

販売業者



産地の流通業者

生産品の在庫管理

生産者

加工品の調達



資材の調達

資材業者

加工業者

小売業者

生産品の調達



# 基幹となる主なシステム機能

- ・調達依頼の登録及び管理(依頼残管理)
- ・購買発注の登録及び管理(発注残管理)
- ・品目(資材、商品、設備等)の台帳管理
- ・仕入先、得意先の顧客管理
- ・倉庫の商品管理及び在庫管理(在庫の見える化)
- ・受注～出荷までの情報管理
- ・受注時の在庫引当、受注登録(受注管理)
- ・倉庫間での在庫移動データの管理(積送管理)

# バリューチェーン&サプライチェーンモデル

- 管理モデル
- 生産施設・設備
- 生産資材・調達
- 生産
- 加工
- 出荷・物流
- 販売
- マーケティング
- サービス

仕入先、得意先の顧客管理

生産品の調達

倉庫間での在庫移動の管理

販売

受注～出荷までの情報管理

受注時の在庫引当、受注管理

出荷・物流

倉庫の在庫管理(在庫の見える化)

製品の在庫管理

生産

生産施設・設備

加工品の調達

資材の調達

生産資材・調達

加工

品目(資材、商品、設備)の台帳管理

マーケティング  
サービス

調達依頼の登録と管理

生産品の調達

購買発注の登録と管理

# 受注引当数量の自動更新機能 在庫マスタの引当数量自動更新

日次払出  
発注別  
集計テー  
ブル作成

在庫マスタ:  
(引当数量)  
登録

在庫マスタ:  
(引当数量)  
更新

受注マス  
タ  
完了フラ  
グ更新  
テーブル  
作成

受注マス  
タ  
完了フラ  
グ更新

更新完  
了

# 受入／払出数量リアルタイム機能 未発注／発注残リアルタイム機能 在庫状況レポートリアルタイム機能 受注在庫引当リアルタイム機能

## 受入／払出数量 リアルタイム機能

(日次)受入数量確認

(日次)払出数量確認

## 未発注／発注残 リアルタイム機能

(未発注)データ抽出

(発注残)データ抽出

## 在庫状況レポート リアルタイム機能

実在庫数量、  
引当可能数量、  
移動中数量

倉庫毎の集計、  
品目毎の集計

## 受注在庫引当 リアルタイム機能

引当可能数量、  
引当不足数量  
の自動計算

引当可能倉庫  
カスタマイズ設定可能

# 受注(在庫引当)計算

処理概要:受注に引当て可能な在庫数量を検索する。

抽出条件:品目コード(受注マスタ)=品目コード(在庫マスタ) and

倉庫コード(在庫マスタ)=倉庫コード(倉庫マスタ) and 品目種別(品目マスタ)=種別グループ(倉庫マスタ)

and 受注年月日(受注マスタ)=本日の日付 and 受注完了フラグ(受注マスタ)=OFF

and 引当対象倉庫フラグ(倉庫マスタ)=ON

レコード表示:

- ①受注番号(受注マスタ)、②受注年月日(受注マスタ)、③受注担当者(受注マスタ)、
- ④得意先コード(受注マスタ)、⑤品目コード(受注マスタ)、⑥納入先住所(受注マスタ)、
- ⑦受注数量(受注マスタ)、⑧倉庫名称(受注マスタ)
- ⑨引当可能数量: Iif([受注数量]>[実在庫数量],[実在庫数量],[受注数量])
- ⑩引当不足数量: Iif([受注数量]>[実在庫数量],[受注数量]-[実在庫数量],0)

```
SELECT 受注マスタ.受注番号, 受注マスタ.受注年月日, 受注マスタ.受注担当者, 受注マスタ.得意先コード, 受注マスタ.品目コード, 受注マスタ.納入先住所, 受注マスタ.受注数量, 倉庫マスタ.倉庫名称, Iif([受注数量]>[実在庫数量],[実在庫数量],[受注数量]) AS 引当可能数量, Iif([受注数量]>[実在庫数量],[受注数量]-[実在庫数量],0) AS 引当不足数量
FROM 品目マスタ INNER JOIN (倉庫マスタ INNER JOIN (受注マスタ INNER JOIN 在庫マスタ ON 受注マスタ.品目コード = 在庫マスタ.品目コード) ON 倉庫マスタ.倉庫コード = 在庫マスタ.倉庫コード) ON (品目マスタ.品目コード = 在庫マスタ.品目コード) AND (品目マスタ.品目コード = 受注マスタ.品目コード) AND (品目マスタ.品目種別 = 倉庫マスタ.種別グループ)
WHERE (((受注マスタ.受注完了フラグ)=False) AND ((倉庫マスタ.引当対象倉庫フラグ)=True))
GROUP BY 受注マスタ.受注番号, 受注マスタ.受注年月日, 受注マスタ.受注担当者, 受注マスタ.得意先コード, 受注マスタ.品目コード, 受注マスタ.納入先住所, 受注マスタ.受注数量, 倉庫マスタ.倉庫名称, Iif([受注数量]>[実在庫数量],[実在庫数量],[受注数量]), Iif([受注数量]>[実在庫数量],[受注数量]-[実在庫数量],0)
HAVING (((受注マスタ.受注年月日)=Date()))
ORDER BY 受注マスタ.受注番号;
```



# 月末在庫処理機能

月末在庫自  
動機能

(月次)累積在  
庫マスタ更新

在庫マスタ洗  
い替え更新

累積在庫マ  
スタ自動機  
能

(月次)累積在  
庫マスタ重複  
データ抽出

# 日次受入集計テーブル作成

.処理概要:受払マスタの受入データを品目コード、倉庫コード、発生年月の月毎に集計して、その結果を集計テーブルとして作成する。

.継続処理:在庫マスタ(当月在庫数)更新

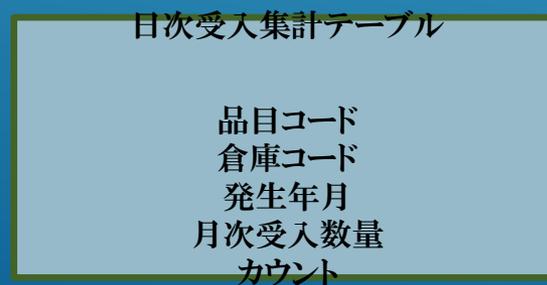
.抽出条件:受払種別コード(受払マスタ)=101(発注在庫) or 501(商品在庫) or 561(初期在庫)  
or 657(受注返品) or 301(グループ購買在庫) or 311(倉庫間移動受入) or 931(棚卸調整受入)  
or 673(グループ購買返品在庫) or 202(費用計上払出取消) or 544(支給品払出取消)  
or 602(出荷売上取消) or 644(グループ購買出荷取消) or 684(サンプル出荷取消)  
or 692(直送出荷取消) or 912(倉庫間移動払出取消) or 934(棚卸調整払出取消)

.テーブル作成:①品目コード(受払マスタ)②倉庫コード(受払マスタ)③発生年月(受払マスタの年月)  
④月次受入数量(受払マスタの受入数量合計)⑤カウント(抽出レコード件数)

```
SELECT DISTINCTROW 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, Format$([受払マスタ].[発生年月日], 'yyyy/mm') AS  
発生年月, Sum(受払マスタ.受入数量) AS 月次受入数量, Count(*) AS カウント INTO 日次受入集計テーブル  
FROM 受払マスタ
```

```
WHERE (((受払マスタ.受払種別コード)=101 Or (受払マスタ.受払種別コード)=501 Or (受払マスタ.受払種別コード)=561 Or (受  
払マスタ.受払種別コード)=657 Or (受払マスタ.受払種別コード)=301 Or (受払マスタ.受払種別コード)=311 Or (受払マスタ.受払  
種別コード)=931 Or (受払マスタ.受払種別コード)=673 Or (受払マスタ.受払種別コード)=202 Or (受払マスタ.受払種別コー  
ド)=544 Or (受払マスタ.受払種別コード)=602 Or (受払マスタ.受払種別コード)=644 Or (受払マスタ.受払種別コード)=684 Or  
(受払マスタ.受払種別コード)=692 Or (受払マスタ.受払種別コード)=912 Or (受払マスタ.受払種別コード)=934))
```

```
GROUP BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, Format$([受払マスタ].[発生年月日], 'yyyy/mm')  
ORDER BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, Format$([受払マスタ].[発生年月日], 'yyyy/mm');
```



# 在庫マスタ:(当月在庫数)更新

.処理概要:在庫マスタの当月在庫数量を品目コード、倉庫コードをキーに更新する。

日次受入集計テーブルにある当月分データのみを対象とする。

.抽出条件:品目コード(在庫マスタ)=品目コード(日次受入集計テーブル) and  
倉庫コード(在庫マスタ)=引当倉庫(日次受入集計テーブル) and  
発生年月(日次受入集計テーブル)=当月データ

.レコード更新:月次受入数量(日次受入集計テーブル) => 当月在庫数量(在庫マスタ)  
本日の日付 => 更新年月日(在庫マスタ)

```
UPDATE 在庫マスタ INNER JOIN 日次受入集計テーブル ON (在庫マスタ.品目コード = 日次受入集計テーブル.品目コード)
AND (在庫マスタ.倉庫コード = 日次受入集計テーブル.倉庫コード) SET 在庫マスタ.当月在庫数量 = [月次受入数量], 在庫マスタ.
更新年月日 = Date()
WHERE (((在庫マスタ.[当月在庫数量])<>[月次受入数量]) AND ((Format$([日次受入集計テーブル].[発生年月], 'yyyy/mm')=Format$(Date(), 'yyyy/mm'))));
```

日次受入集計テーブル

品目コード  
倉庫コード  
発生年月  
月次受入数量  
カウント

在庫マスタ

品目コード  
倉庫コード  
当月在庫数量  
更新年月日

# 日次払出集計テーブル作成

.処理概要:受払マスタの払出データを品目コード、倉庫コード、発生年月の月毎に集計して、その結果を集計テーブルとして作成する。

.継続処理:在庫マスタ(当月出荷数)更新

.抽出条件:受払種別コード(受払マスタ)=102(発注在庫取消) or 502(商品在庫取消)

or 562(初期在庫取消) or 658(受注返品取消) or 302(グループ購買在庫取消)

or 312(倉庫間移動受入取消) or 932(棚卸調整受入取消) or 674(グループ購買返品在庫取消)

or 201(費用計上払出) or 543(支給品払出) or 601(出荷売上) or 643(グループ購買出荷)

or 683(サンプル出荷) or 691(直送出荷) or 911(倉庫間移動払出) or 933(棚卸調整払出)

.テーブル作成:①品目コード(受払マスタ)②倉庫コード(受払マスタ)③発生年月(受払マスタの年月)

④月次受入数量(受払マスタの受入数量合計)⑤カウント(抽出レコード件数)

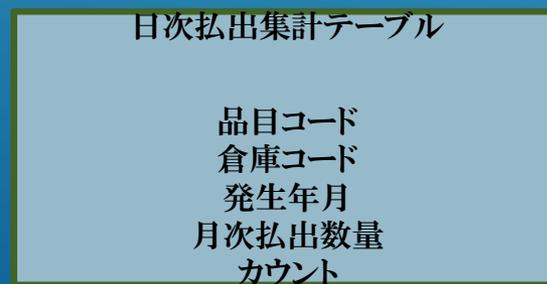
.SELECT DISTINCTROW 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, Format\$([受払マスタ].[発生年月日],'yyyy/mm') AS 発生年月, Sum(受払マスタ.払出数量) AS 月次払出数量, Count(\*) AS カウント INTO 日次払出集計テーブル

.FROM 受払マスタ

.WHERE (((受払マスタ.受払種別コード)=102 Or (受払マスタ.受払種別コード)=502 Or (受払マスタ.受払種別コード)=562 Or (受払マスタ.受払種別コード)=658 Or (受払マスタ.受払種別コード)=302 Or (受払マスタ.受払種別コード)=312 Or (受払マスタ.受払種別コード)=932 Or (受払マスタ.受払種別コード)=674 Or (受払マスタ.受払種別コード)=201 Or (受払マスタ.受払種別コード)=543 Or (受払マスタ.受払種別コード)=601 Or (受払マスタ.受払種別コード)=643 Or (受払マスタ.受払種別コード)=683 Or (受払マスタ.受払種別コード)=691 Or (受払マスタ.受払種別コード)=911 Or (受払マスタ.受払種別コード)=933))

.GROUP BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, Format\$([受払マスタ].[発生年月日],'yyyy/mm')

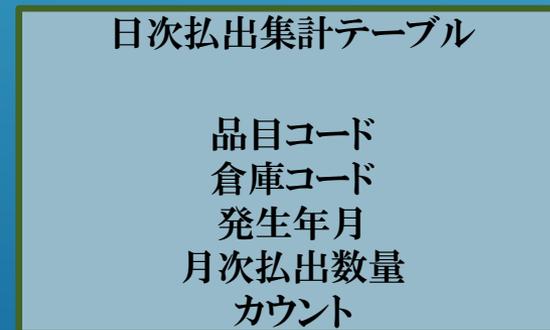
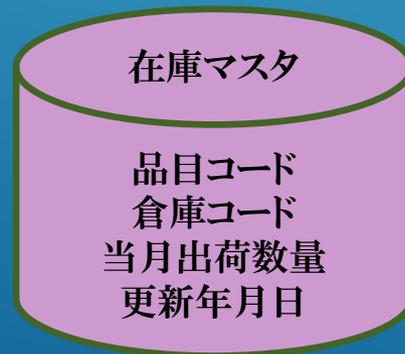
.ORDER BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, Format\$([受払マスタ].[発生年月日],'yyyy/mm');



# 在庫マスタ:(当月出荷数)更新

- .処理概要:在庫マスタの当月出荷数量を品目コード、倉庫コードをキーに更新する。  
日次払出集計テーブルにある当月分データのみを対象とする。
- .抽出条件:品目コード(在庫マスタ)=品目コード(日次払出集計テーブル) and  
倉庫コード(在庫マスタ)=引当倉庫(日次払出集計テーブル) and  
発生年月(日次払出集計テーブル)=当月データ
- .レコード更新:月次払出数量(日次払出集計テーブル) => 当月出荷数量(在庫マスタ)  
本日の日付 => 更新年月日(在庫マスタ)

```
UPDATE 在庫マスタ INNER JOIN 日次払出集計テーブル ON (在庫マスタ.倉庫コード = 日次払出集計テーブル.倉庫コード)
AND (在庫マスタ.品目コード = 日次払出集計テーブル.品目コード) SET 在庫マスタ.当月出荷数量 = [月次払出数量], 在庫マ
スタ.更新年月日 = Date()
WHERE (((在庫マスタ.[当月出荷数量])<>[月次払出数量]) AND ((Format$( [日次払出集計テーブル].[発生年
月], 'yyyy/mm')=Format$(Date(), 'yyyy/mm')));
```



# 日次払出發注別集計テーブル作成

処理概要:受払マスタの払出データを品目コード、倉庫コード、発生年月日、発注番号の日毎に集計して、その結果を集計テーブルとして作成する。

継続処理:①在庫マスタ(引当数量)更新、②受注マスタ完了フラグ更新テーブル作成

抽出条件:発注番号(受払マスタ)>0 and 受払種別コード(受払マスタ)=102(発注在庫取消)

or 502(商品在庫取消) or 562(初期在庫取消) or 658(受注返品取消) or 302(グループ購買在庫取消)

or 312(倉庫間移動受入取消) or 932(棚卸調整受入取消) or 674(グループ購買返品在庫取消)

or 201(費用計上払出) or 543(支給品払出) or 601(出荷売上) or 683(サンプル出荷)

or 691(直送出荷) or 933(棚卸調整払出) ※643(グループ購買出荷)と911(倉庫間出荷)は対象外

テーブル作成:①品目コード(受払マスタ)②倉庫コード(受払マスタ)③発生年月日(受払マスタ年月日)

④発注番号(受払マスタ)⑤日次払出数量(受払マスタ日次払出数量合計)⑥カウント(抽出レコード件数)

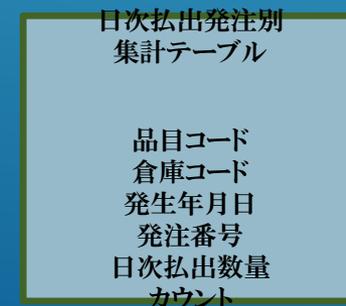
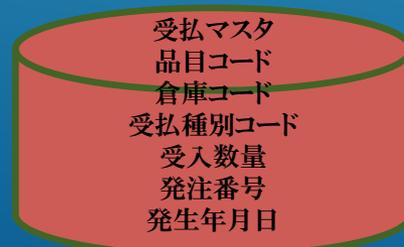
```
SELECT DISTINCTROW 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.発生年月日, 受払マスタ.発注番号,
Sum(受払マスタ.払出数量) AS 日次払出数量, Count(*) AS カウント INTO 日次払出發注別集計テーブル
FROM 受払マスタ
```

```
WHERE (((受払マスタ.受払種別コード)=102 Or (受払マスタ.受払種別コード)=502 Or (受払マスタ.受払種別コード)=562 Or (受
払マスタ.受払種別コード)=658 Or (受払マスタ.受払種別コード)=302 Or (受払マスタ.受払種別コード)=312 Or (受払マスタ.受
払種別コード)=932 Or (受払マスタ.受払種別コード)=674 Or (受払マスタ.受払種別コード)=201 Or (受払マスタ.受払種別コー
ド)=543 Or (受払マスタ.受払種別コード)=601 Or (受払マスタ.受払種別コード)=683 Or (受払マスタ.受払種別コード)=691 Or
(受払マスタ.受払種別コード)=933))
```

```
GROUP BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.発生年月日, 受払マスタ.発注番号
```

```
HAVING (((受払マスタ.発注番号)>0))
```

```
ORDER BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.発生年月日;
```



# 在庫マスタ:(引当数量)登録

.処理概要:受注した引当数量を品目コード、倉庫コードをキーに在庫マスタを更新する。

.抽出条件:品目コード(在庫マスタ)=品目コード(受注マスタ) and

倉庫コード(在庫マスタ)=引当倉庫(受注マスタ) and 登録済フラグ(受注マスタ)=フラグOFF  
and 受注完了フラグ(受注マスタ)=フラグOFF and 受注年月日(受注マスタ)=本日の日付

.レコード更新:

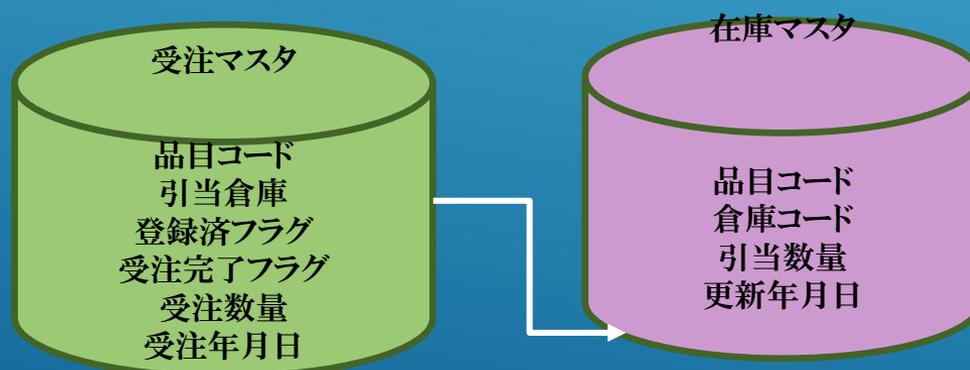
引当数量(在庫マスタ)+受注数量(受注マスタ) => 引当数量(在庫マスタ)

フラグON => 登録済フラグ(受注マスタ)

本日の日付 => 更新年月日(在庫マスタ)

```
UPDATE 在庫マスタ INNER JOIN 受注マスタ ON (在庫マスタ.品目コード = 受注マスタ.品目コード) AND (在庫マスタ.倉庫コード = 受注マスタ.引当倉庫) SET 在庫マスタ.引当数量 = [引当数量]+[受注数量], 在庫マスタ.更新年月日 = Date(), 受注マスタ.登録済フラグ = True
```

```
WHERE (((受注マスタ.登録済フラグ)=False) AND ((受注マスタ.受注完了フラグ)=False) AND ((受注マスタ.受注年月日)=Date()));
```



# 在庫マスタ:(引当数量)更新

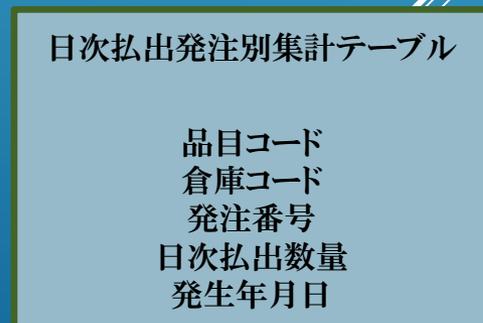
.処理概要:受注に引当られた在庫が払出されたので、在庫マスタの引当数量を品目コード、倉庫コードをキーに更新する。

.抽出条件:品目コード(在庫マスタ)=品目コード(日次払出発注別集計テーブル) and  
倉庫コード(在庫マスタ)=倉庫コード(日次払出発注別集計テーブル) and  
発注番号(発注マスタ)=発注番号(日次払出発注別集計テーブル) and  
受注番号(発注マスタ)=受注番号(受注マスタ) and  
受注完了フラグ(受注マスタ)=フラグOFF

.レコード更新:

引当数量(在庫マスタ)-日次払出数量(日次払出発注別集計テーブル) => 引当数量(在庫マスタ)  
本日の日付 => 更新年月日(在庫マスタ)

UPDATE 受注マスタ INNER JOIN (在庫マスタ INNER JOIN (日次払出発注別集計テーブル INNER JOIN 発注マスタ ON 日次払出発注別集計テーブル.発注番号 = 発注マスタ.発注番号) ON (在庫マスタ.品目コード = 日次払出発注別集計テーブル.品目コード) AND (在庫マスタ.倉庫コード = 日次払出発注別集計テーブル.倉庫コード)) ON 受注マスタ.受注番号 = 発注マスタ.受注番号 SET 在庫マスタ.引当数量 = [引当数量]-[日次払出数量], 在庫マスタ.更新年月日 = Date()  
WHERE (((受注マスタ.受注完了フラグ)=False));



# 受注マスタ完了フラグ更新テーブル作成

.処理概要:受注完了フラグを自動設定するために、品目コード、倉庫コード、受注番号をキーに集計して、その結果を更新テーブルとして作成する。

.継続処理:受注マスタ完了フラグ更新

.抽出条件:発注番号(発注マスタ)=発注番号(日次払出發注別集計テーブル) and

受注番号(発注マスタ)=受注番号(受注マスタ) and 受注完了フラグ(受注マスタ)=フラグOFF

.テーブル作成:①品目コード(受注マスタ)②倉庫コード(受注マスタの引当倉庫)

③受注番号(受注マスタの受注番号)

④月次払出数量(日次払出發注別集計テーブルの日次払出数量を年月で合計)

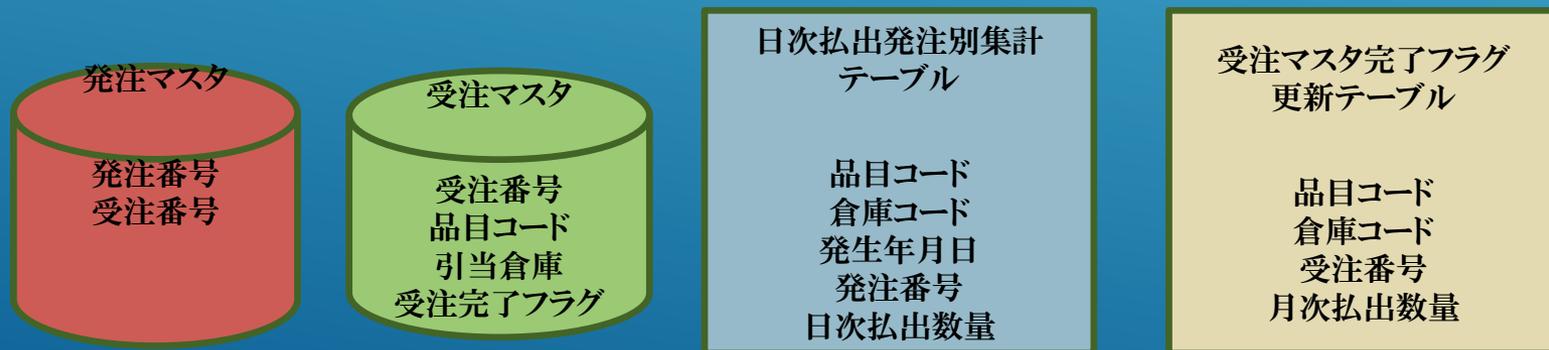
```
SELECT 受注マスタ.品目コード, 受注マスタ.引当倉庫 AS 倉庫コード, 受注マスタ.受注番号, Sum(日次払出發注別集計テーブル.日次払出数量) AS 月次払出数量 INTO 受注マスタ完了フラグ更新テーブル
```

```
FROM 受注マスタ INNER JOIN (発注マスタ INNER JOIN 日次払出發注別集計テーブル ON 発注マスタ.発注番号 = 日次払出發注別集計テーブル.発注番号) ON 受注マスタ.受注番号 = 発注マスタ.受注番号
```

```
WHERE (((受注マスタ.受注完了フラグ)=False))
```

```
GROUP BY 受注マスタ.品目コード, 受注マスタ.引当倉庫, 受注マスタ.受注番号
```

```
ORDER BY 受注マスタ.品目コード, 受注マスタ.引当倉庫, 受注マスタ.受注番号;
```



# 受注マスタ完了フラグ更新

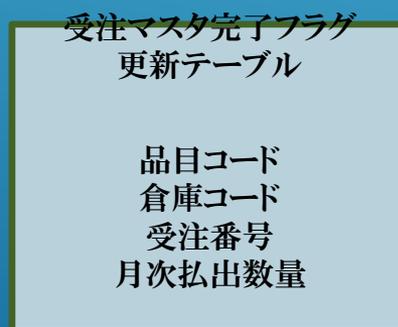
.処理概要:受注マスタの受注完了フラグを更新する。

.継続処理:

.抽出条件:受注番号(受注マスタ完了フラグ更新テーブル)=受注番号(受注マスタ) and  
月次払出数量(受注マスタ完了フラグ更新テーブル)=受注数量(受注マスタ)

.テーブル更新:①受注完了フラグ => フラグをON

```
UPDATE 受注マスタ INNER JOIN 受注マスタ完了フラグ更新テーブル ON 受注マスタ.受注番号 = 受注マスタ完了フラグ更新テーブル.受注番号 SET 受注マスタ.受注完了フラグ = True  
WHERE (((受注マスタ完了フラグ更新テーブル.月次払出数量)=[受注数量]));
```



# 日次払出發注別(発注完了)テーブル作成

.処理概要:発注完了フラグを自動設定するために、受払マスタの払出データを品目コード、倉庫コード、発生年月日、発注番号の日毎に集計して、その結果を集計テーブルとして作成する。

.継続処理:発注マスタ(払出)完了フラグ更新テーブル作成

.抽出条件:発注番号(受払マスタ)>0 and

抽出条件:受払種別コード(受払マスタ)=201(費用計上払出) or 543(支給品払出)  
or 601(出荷売上) or 683(サンプル出荷) or 691(直送出荷) or 933(棚卸調整払出)

.テーブル作成:①品目コード(受払マスタ)②倉庫コード(受払マスタ)③発生年月日(受払マスタ年月日)④発注番号(受払マスタ)⑤日次払出数量(受払マスタの払出数量合計)

```
SELECT DISTINCTROW 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.発生年月日, 受払マスタ.発注番号,  
Sum(受払マスタ.払出数量) AS 日次払出数量 INTO [日次払出發注別(発注完了)テーブル]
```

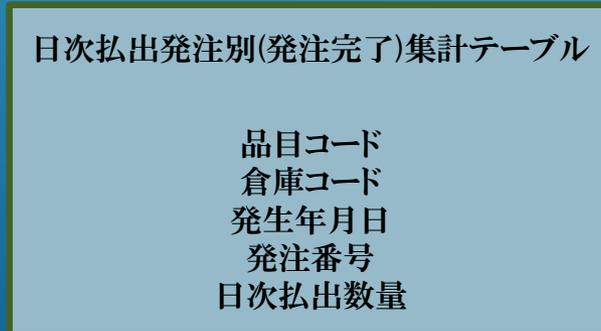
```
FROM 受払マスタ
```

```
WHERE (((受払マスタ.受払種別コード)=201 Or (受払マスタ.受払種別コード)=543 Or (受払マスタ.受払種別コード)=601 Or (受  
払マスタ.受払種別コード)=683 Or (受払マスタ.受払種別コード)=691 Or (受払マスタ.受払種別コード)=933))
```

```
GROUP BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.発生年月日, 受払マスタ.発注番号
```

```
HAVING (((受払マスタ.発注番号)>0))
```

```
ORDER BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.発生年月日;
```



# 発注マスタ(払出)完了フラグ更新テーブル作成

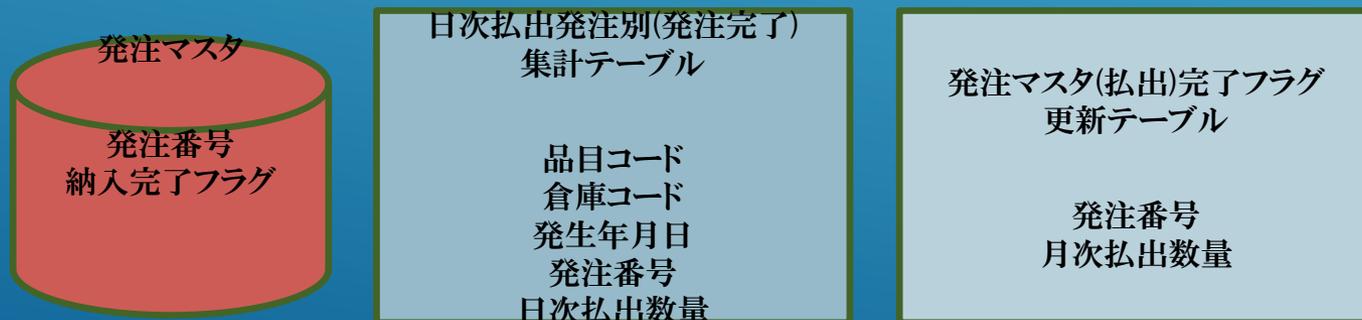
.処理概要:発注完了フラグを自動設定するために、日次払出發注別(発注完了)集計テーブルの払出数量を発注番号毎に集計して、その結果を更新テーブルとして作成する。

.継続処理:発注マスタ(払出)完了フラグ更新

.抽出条件:納入完了フラグ(発注マスタ)=フラグOFF

.テーブル作成:①発注番号(発注マスタ)②月次払出数量(日次払出發注別(発注完了)集計テーブルの日次払出数量合計)

```
SELECT 発注マスタ.発注番号, Sum([日次払出發注別(発注完了)テーブル].日次払出数量) AS 月次払出数量 INTO [発注マスタ(払出)完了フラグ更新テーブル]  
FROM 発注マスタ INNER JOIN [日次払出發注別(発注完了)テーブル] ON 発注マスタ.発注番号 = [日次払出發注別(発注完了)テーブル].発注番号  
WHERE (((発注マスタ.納入完了フラグ)=False))  
GROUP BY 発注マスタ.発注番号;
```



# 発注マスタ(払出)完了フラグ更新

.処理概要:発注マスタの納入完了フラグを発注マスタ(払出)完了フラグ更新テーブルを元に自動更新する。

.抽出条件:納入完了フラグ(発注マスタ)=フラグOFF

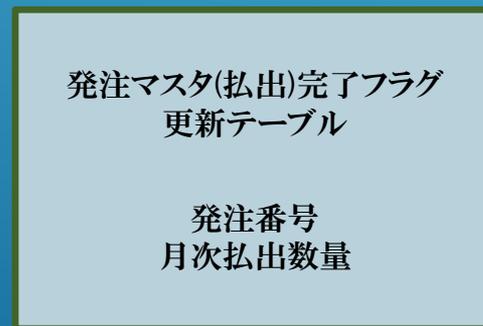
.レコード更新:納入完了フラグ =>

月次払出数量(発注マスタ(払出)完了フラグ更新テーブル)=発注数量(発注マスタ)の場合  
フラグON => 納入完了フラグ(発注マスタ)

上記以外の場合

フラグOFF => 納入完了フラグ(発注マスタ)

```
UPDATE 発注マスタ INNER JOIN [発注マスタ(払出)完了フラグ更新テーブル] ON 発注マスタ.発注番号 = [発注マスタ(払出)完了フラグ更新テーブル].発注番号 SET 発注マスタ.納入完了フラグ = Iif([月次払出数量]=[発注数量],True,False)
WHERE (((発注マスタ.納入完了フラグ)=False));
```



# 日次受入発注別(発注完了)テーブル作成

.処理概要:発注完了フラグを自動設定するために、受払マスタの受入データを品目コード、倉庫コード、発生年月日、発注番号の日毎に集計して、その結果を集計テーブルとして作成する。

.継続処理:発注マスタ(受入)完了フラグ更新テーブル作成

.抽出条件:発注番号(受払マスタ)>0 and 受払種別コード(受払マスタ)= 101(発注入庫)

or 561(初期在庫) or 657(受注返品) or 301(グループ購買入庫) or 311(倉庫間移動受入)

or 931(棚卸調整受入) or 673(グループ購買返品入庫)

.テーブル作成:①品目コード(受払マスタ)②倉庫コード(受払マスタ)③発生年月日(受払マスタ年月日)

④発注番号(受払マスタ)⑤日次受入数量(受払マスタの受入数量合計)

```
SELECT DISTINCTROW 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.発生年月日, 受払マスタ.発注番号,  
Sum(受払マスタ.受入数量) AS 日次受入数量 INTO [日次受入発注別(発注完了)テーブル]
```

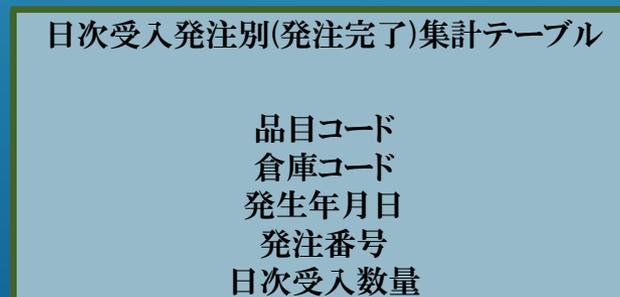
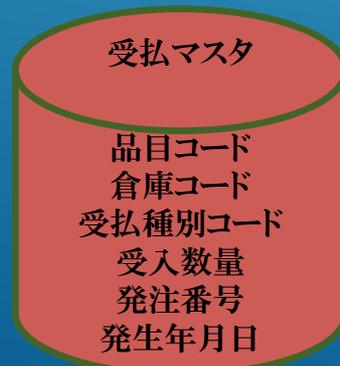
```
FROM 受払マスタ
```

```
WHERE (((受払マスタ.受払種別コード)=101 Or (受払マスタ.受払種別コード)=561 Or (受払マスタ.受払種別コード)=657 Or (受  
払マスタ.受払種別コード)=301 Or (受払マスタ.受払種別コード)=311 Or (受払マスタ.受払種別コード)=931 Or (受払マスタ.受払  
種別コード)=673))
```

```
GROUP BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.発生年月日, 受払マスタ.発注番号
```

```
HAVING (((受払マスタ.発注番号)>0))
```

```
ORDER BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.発生年月日;
```



# 発注マスタ(受入)完了フラグ更新テーブル作成

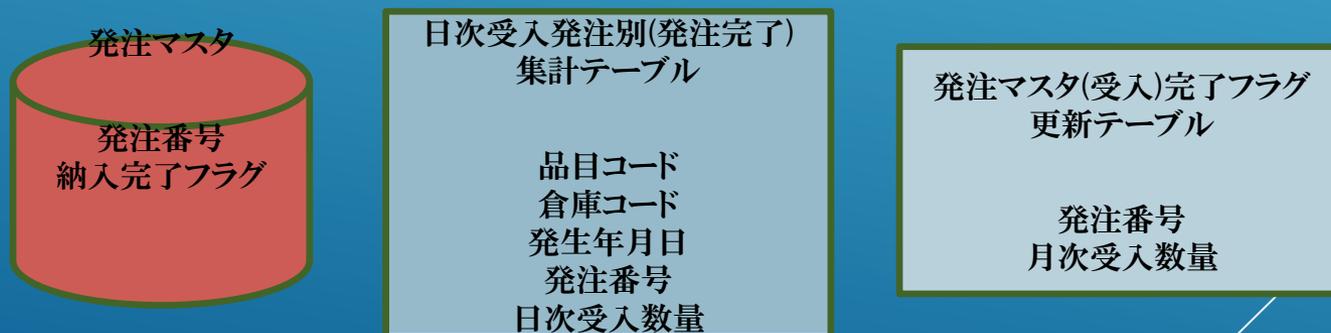
.処理概要:発注完了フラグを自動設定するために、日次払受入注別(発注完了)集計テーブルの受入数量を発注番号毎に集計して、その結果を更新テーブルとして作成する。

.継続処理:発注マスタ(受入)完了フラグ更新

.抽出条件:納入完了フラグ(発注マスタ)=フラグOFF

.テーブル作成:①発注番号(発注マスタ)②月次受入数量(日次受入発注別(発注完了)集計テーブルの日次受入数量合計)

```
SELECT 発注マスタ.発注番号, Sum([日次受入発注別(発注完了)テーブル].日次受入数量) AS 月次受入数量 INTO [発注マスタ(受入)完了フラグ更新テーブル]
FROM 発注マスタ INNER JOIN [日次受入発注別(発注完了)テーブル] ON 発注マスタ.発注番号 = [日次受入発注別(発注完了)テーブル].発注番号
WHERE (((発注マスタ.納入完了フラグ)=False))
GROUP BY 発注マスタ.発注番号
ORDER BY 発注マスタ.発注番号;
```



# 発注マスタ(受入)完了フラグ更新

.処理概要:発注マスタの納入完了フラグを発注マスタ(受入)完了フラグ更新テーブルを元に自動更新する。

.抽出条件:納入完了フラグ(発注マスタ)=フラグOFF

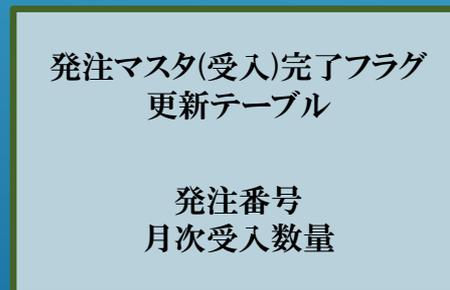
.レコード更新:

月次受入数量(発注マスタ(受入)完了フラグ更新テーブル)=発注数量(発注マスタ)の場合  
フラグON => 納入完了フラグ(発注マスタ)

上記以外の場合

フラグOFF => 納入完了フラグ(発注マスタ)

```
UPDATE 発注マスタ INNER JOIN [発注マスタ(受入)完了フラグ更新テーブル] ON 発注マスタ.発注番号 = [発注マスタ(受入)完了フラグ更新テーブル].発注番号 SET 発注マスタ.納入完了フラグ = Iif([月次受入数量]=[発注数量],True,False) WHERE (((発注マスタ.納入完了フラグ)=False));
```



# 積送管理テーブルへの払出登録

.処理概要:在庫移動として登録された払出データを管理するために積送管理テーブルへ登録する。

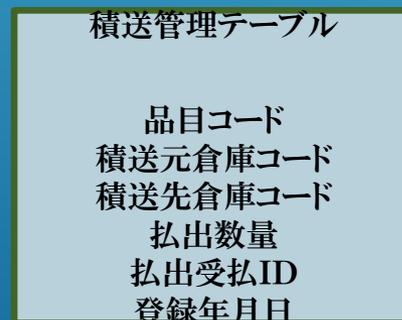
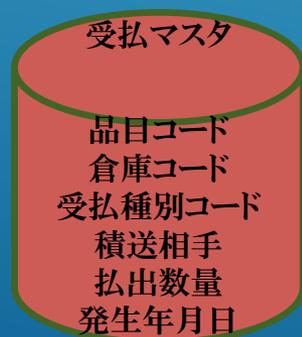
.継続処理:

.抽出条件:受払種別コード(受払マスタ)=302(グループ購買在庫取消) or 312(倉庫間移動受入取消)  
or 643(グループ購買出荷) or 911(倉庫間移動払出)

発生年月日(受払マスタ) => 本日の日付

.テーブル追加:①品目コード(受払マスタ品目コード)②積送元倉庫コード(受払マスタ倉庫コード)  
③積送先倉庫コード(受払マスタ積送相手)④払出数量(受払マスタ払出数量)  
⑤払出受払ID(受払マスタ払出数量)⑥登録年月日(受払マスタ発生年月日)

```
INSERT INTO 積送管理テーブル ( 品目コード, 積送元倉庫コード, 積送先倉庫コード, 払出数量, 払出受払ID, 登録年月日 )  
SELECT 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.倉庫コード, 受払マスタ.積送相手, 受払マスタ.払出数量, 受払マスタ.受払ID, 受  
払マスタ.発生年月日  
FROM 受払マスタ  
WHERE (((受払マスタ.発生年月日)=Date()) AND ((受払マスタ.受払種別コード)=302 Or (受払マスタ.受払種別コード)=312 Or  
(受払マスタ.受払種別コード)=643 Or (受払マスタ.受払種別コード)=911));
```



# 在庫マスタ:(積送払出)更新

.処理概要:相手に払出された積送中の在庫を在庫マスタの積送中在庫として更新する。

.抽出条件:品目コード(在庫マスタ)=品目コード(積送管理テーブル) and

倉庫コード(在庫マスタ)=積送元倉庫コード(積送管理テーブル) and

登録フラグ(積送管理テーブル)=フラグOFF and 登録年月日(積送管理テーブル)=本日の日付

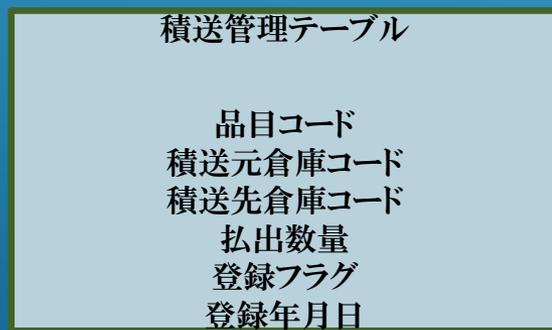
.レコード更新:

積送中数量(在庫マスタ)+払出数量(積送管理テーブル) => 積送中数量(在庫マスタ)

フラグON => 登録フラグ(積送管理テーブル)

本日の日付 => 更新年月日(在庫マスタ)

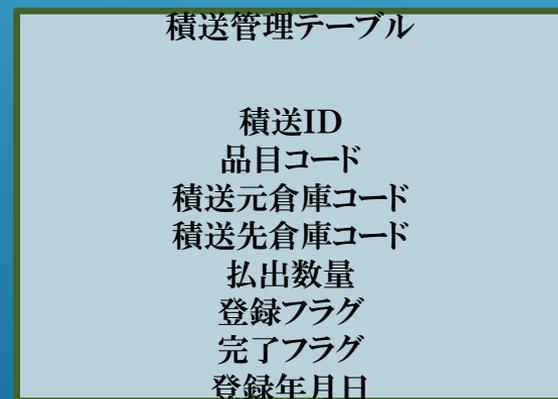
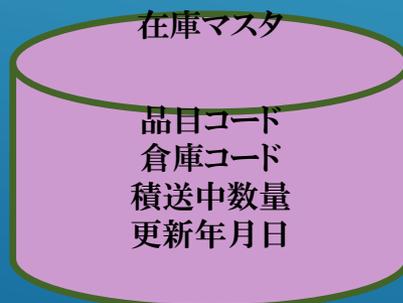
```
UPDATE 在庫マスタ INNER JOIN 積送管理テーブル ON (在庫マスタ.倉庫コード = 積送管理テーブル.積送元倉庫コード)
AND (在庫マスタ.品目コード = 積送管理テーブル.品目コード) SET 在庫マスタ.積送中数量 = [積送中数量]+[払出数量],
在庫マスタ.更新年月日 = Date(), 積送管理テーブル.登録フラグ = True
WHERE (((積送管理テーブル.登録フラグ)=False) AND ((積送管理テーブル.登録年月日)=Date()));
```



# 積送在庫受入更新(1)

.処理概要:相手から払出しされた積送中の在庫を受入したので、在庫マスタの積送中在庫と積送管理テーブルを更新する。

.抽出条件:品目コード(受払マスタ)=品目コード(在庫マスタ) and  
品目コード(受払マスタ)=品目コード(積送管理テーブル) and  
積送相手(受払マスタ)=倉庫コード(在庫マスタ) and  
積送相手(受払マスタ)=積送元倉庫コード(積送管理テーブル) and  
倉庫コード(受払マスタ)=積送先倉庫コード(積送管理テーブル) and  
(受払種別コード(受払マスタ)=301(グループ購入入庫) or 311(倉庫間移動受入)  
or 644(グループ購入出荷取消) or 912(倉庫間移動払出取消) ) and  
完了フラグ(積送管理テーブル)=フラグOFF and  
発生年月日(受払マスタ)=本日の日付  
積送番号(受払マスタ)=NULL



# 積送在庫受入更新(2)

レコード更新:

積送中数量(在庫マスタ)-受入数量(受払マスタ) => 積送中数量(在庫マスタ)

本日の日付 => 更新年月日(在庫マスタ)

受入数量(受入マスタ)=払出数量(積送管理テーブル)の場合

フラグON => 完了フラグ(積送管理テーブル)

上記以外の場合

フラグOFF => 完了フラグ(積送管理テーブル)

払出数量(積送管理テーブル) - 受入数量(受入マスタ) => 払出数量(積送管理テーブル)

本日の日付 => 完了年月日(積送管理テーブル)

積送番号(受払マスタ) => 積送ID(積送管理テーブル)

```
UPDATE (積送管理テーブル INNER JOIN 受払マスタ ON (積送管理テーブル.品目コード = 受払マスタ.品目コード) AND
(積送管理テーブル.積送元倉庫コード = 受払マスタ.積送相手) AND (積送管理テーブル.積送先倉庫コード = 受払マスタ.
倉庫コード)) INNER JOIN 在庫マスタ ON (受払マスタ.品目コード = 在庫マスタ.品目コード) AND (受払マスタ.積送相手 =
在庫マスタ.倉庫コード) SET 積送管理テーブル.完了フラグ = Iif([受入数量]=[積送管理テーブル].[払出数量],True,False),
積送管理テーブル.払出数量 = [積送管理テーブル].[払出数量]-[受入数量], 積送管理テーブル.完了年月日 = Date(), 在
庫マスタ.積送中数量 = [積送中数量]-[受入数量], 受払マスタ.積送番号 = [積送ID], 在庫マスタ.更新年月日 = Date()
WHERE (((積送管理テーブル.完了フラグ)=False) AND ((受払マスタ.積送番号) Is Null) AND ((受払マスタ.受払種別コー
ド)=301 Or (受払マスタ.受払種別コード)=311 Or (受払マスタ.受払種別コード)=644 Or (受払マスタ.受払種別コード)=912)
AND ((受払マスタ.発生年月日)=Date()));
```

# 日次(受払)種目別集計テーブル作成

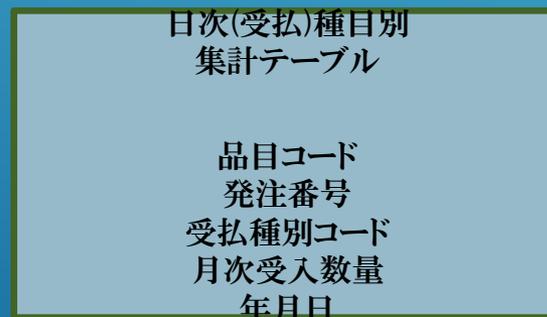
.処理概要:本日の受払マスタの発注番号を持つ受払いデータを集計テーブルとして作成する。

.継続処理:日次(受払)種目別金額集計テーブル

.抽出条件:発注番号(受払マスタ)>0 and 発生年月日(受払マスタ)=本日

.テーブル作成:①品目コード(受払マスタ)②発注番号(受払マスタ)③受払種別コード(受払マスタ)  
④年月日(受払マスタ)

```
SELECT DISTINCTROW 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.発注番号, 受払マスタ.受払種別コード, 受払マスタ.発生年月日  
AS 年月日 INTO [日次(受払)種目別集計テーブル]  
FROM 受払マスタ  
WHERE (((受払マスタ.発注番号)>0) AND ((受払マスタ.発生年月日)=Date()))  
ORDER BY 受払マスタ.品目コード, 受払マスタ.発注番号;
```



# 日次(受払)種目別金額集計テーブル作成

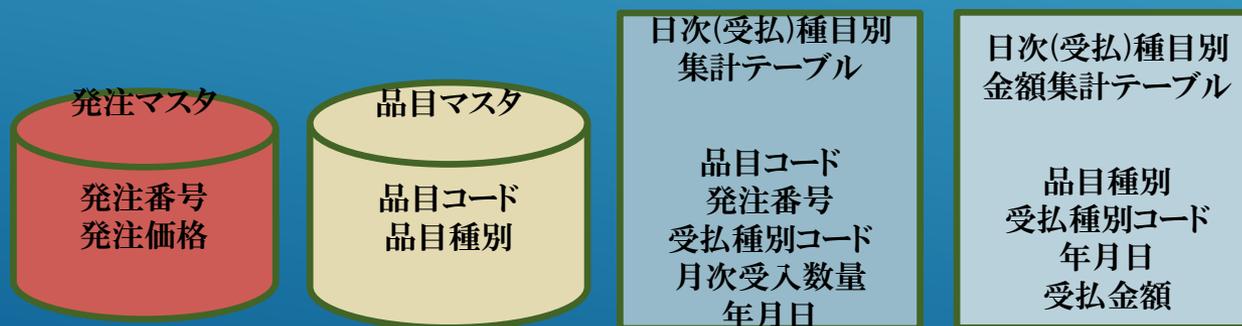
.処理概要:日次(受払)種目別集計テーブルから、発注番号をキーに発注価格と品目コードの品目種別を取得して集計テーブルとして作成する。

.継続処理:(日次)仕訳帳作成

.抽出条件:発注番号(受払マスタ)=発注番号(日次(受払)種目別集計テーブル) and  
品目コード(品目マスタ)=品目コード(日次(受払)種目別集計テーブル) and  
発生年月日(受払マスタ)=本日

.テーブル作成:①品目種別(品目マスタ)②受払種別コード(日次(受払)種目別集計テーブル)  
③年月日(日次(受払)種目別集計テーブル)④受払金額(発注マスタ発注価格の種目別合計)

```
SELECT DISTINCTROW 品目マスタ.品目種別,[日次(受払)種目別集計テーブル].受払種別コード,[日次(受払)種目別集計テーブル].年月日,Sum(発注マスタ.発注価格) AS 受払金額 INTO [日次(受払)種目別金額集計テーブル]
FROM (発注マスタ INNER JOIN [日次(受払)種目別集計テーブル] ON 発注マスタ.発注番号 = [日次(受払)種目別集計テーブル].発注番号) INNER JOIN 品目マスタ ON [日次(受払)種目別集計テーブル].品目コード = 品目マスタ.品目コード
GROUP BY 品目マスタ.品目種別,[日次(受払)種目別集計テーブル].受払種別コード,[日次(受払)種目別集計テーブル].年月日
ORDER BY 品目マスタ.品目種別,[日次(受払)種目別集計テーブル].受払種別コード,[日次(受払)種目別集計テーブル].年月日;
```



# (日次)仕訳帳作成

.処理概要:日次(受払)種目別金額集計テーブルから、品目種別と受払種別コードをキーに勘定仕訳テーブルから科目コードを取得して(日次)仕訳帳として作成する。

.継続処理:(日次)仕訳帳マスタ更新

.抽出条件:品目種別(勘定仕訳テーブル)=品目種別(日次(受払)種目別金額集計テーブル) and 受払種別コード(勘定仕訳テーブル)=受払種別コード(日次(受払)種目別金額集計テーブル)

.テーブル作成:①借方科目コード(勘定仕訳テーブル)②貸方科目コード(勘定仕訳テーブル)

③受払金額(日次(受払)種目別金額集計テーブル受払金額の合計)

④摘要(勘定仕訳テーブル)⑤年月日(日次(受払)種目別金額集計テーブル)

```
SELECT 勘定仕訳テーブル.借方科目コード, 勘定仕訳テーブル.貸方科目コード, Sum([日次(受払)種目別金額集計テーブル].受払金額) AS 受払金額, 勘定仕訳テーブル.摘要, [日次(受払)種目別金額集計テーブル].年月日 INTO [(日次)仕訳帳] FROM [日次(受払)種目別金額集計テーブル] INNER JOIN 勘定仕訳テーブル ON ([日次(受払)種目別金額集計テーブル].受払種別コード = 勘定仕訳テーブル.受払種別コード) AND ([日次(受払)種目別金額集計テーブル].品目種別 = 勘定仕訳テーブル.品目種別)
```

```
GROUP BY 勘定仕訳テーブル.借方科目コード, 勘定仕訳テーブル.貸方科目コード, 勘定仕訳テーブル.摘要, [日次(受払)種目別金額集計テーブル].年月日
```

```
ORDER BY 勘定仕訳テーブル.借方科目コード, 勘定仕訳テーブル.貸方科目コード;
```

勘定仕訳テーブル

品目種別  
受払種別コード  
借方科目コード  
貸方科目コード  
摘要

日次(受払)種目別  
金額集計テーブル

品目種別  
受払種別コード  
年月日  
受払金額

(日次)仕訳帳

借方科目コード  
貸方科目コード  
受払金額  
摘要  
年月日

# (日次)仕訳帳マスタ更新

.処理概要:(日次)仕訳帳をベースに仕訳帳マスタを更新する。

.継続処理:

.抽出条件:

.テーブル追加:①発生年月日((日次)仕訳帳の年月日)

②借方勘定科目((日次)仕訳帳の借方科目コード)

③借方金額((日次)仕訳帳の受払金額)

④貸方勘定科目((日次)仕訳帳の貸方科目コード)

⑤貸方金額((日次)仕訳帳の受払金額)

⑥摘要((日次)仕訳帳の摘要)

INSERT INTO 仕訳帳マスタ ( 借方勘定科目, 借方金額, 貸方勘定科目, 貸方金額, 摘要, 発生年月日 )

SELECT [(日次)仕訳帳].借方科目コード, [(日次)仕訳帳].受払金額, [(日次)仕訳帳].貸方科目コード, [(日次)仕訳帳].受払金額, [(日次)仕訳帳].摘要, [(日次)仕訳帳].年月日

FROM [(日次)仕訳帳];

